

2019年度 環境経営レポート

環境経営レポートの対象期間：2019年12月1日～2020年11月30日

（第13版 発行 2021年3月）

交通安全施設を通し持続可能な社会実現に寄与する！



中部ロードテック株式会社



環境省
エコアクション21
認証番号0002595

目 次

1.	組織の概要	1～2
2-1.	実施体制（組織図）	3
2-2.	実施体制（役割・責任・権限）	4
3.	環境経営方針	5
4.	環境経営目標	6
5.	環境経営計画と評価	7～9
6.	環境経営計画に基づき実施した取組み内容	10～14
7-1.	環境経営目標の実績	15
7-2.	環境経営計画の取組結果とその評価	16～17
7-3.	次年度の環境経営計画	18～20
8.	SDG s	21～22
9.	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	23
10.	代表者による全体の評価と見直し・指示	24

1. 組織の概要

□事業者及び代表者

事業者名：中部ロードテック株式会社

代表者名：海野 景司

□所在地

< 本 社 >

〒422-8046

静岡市駿河区中島1380-1

☎ 054-287-2716

☎ 054-287-2736

HP <http://www.s-crt.com/>

< 沼 津 営 業 所 >

〒410-0048

沼津市新宿町16-5 まるやビル

☎ 055-943-7824

☎ 055-943-7825

<本社アクセスマップ>



□環境管理の責任者及び担当者

< 環 境 管 理 責 任 者 > 海野 景司

< 環 境 管 理 担 当 者 > 北川 忠史

E-mail roadtech@guitar.ocn.ne.jp

□創業

1993年6月1日

□資本金

10,000千円

□所属団体

一般社団法人 全国道路標識・標示業協会

1. 組織の概要

□事業の内容

■建設業（交通安全施設の設計施工）

【本社】

< 建設業の種類 > 静岡県知事許可 第26833号

< 建設業許可 > 土木工事業、とび・土工工事業、電気工事業、舗装工事業、塗装工事業

< 有効期限 > 2024年8月24日

【沼津営業所】

< 建設業許可 > 土木工事業、とび・土工工事業、塗装工事業

■産業廃棄物収集運搬業（現在のところ実績なし）

< 許可 > 静岡県知事 第02201196927号

< 有効期限 > 2022年9月10日

< 許可の区分 > 収集・運搬（積替え、保管行為を除く）

< 産業廃棄物の種類 > 廃プラスチック類、金属くず、紙くず、木くず、繊維くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類

□主要取引先

国土交通省、静岡県警察本部、NEXCO中日本、静岡県内各土木事務所
静岡市役所、焼津市役所、島田市役所、他静岡県内各市町村
土屋建設株式会社、山本建設株式会社、他静岡県内舗装会社

□事業の規模

対象年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
対象期間	2015年12月1日～	2016年12月1日～	2017年12月1日～	2018年12月1日～	2019年12月1日～
	2016年11月30日	2017年11月30日	2018年11月30日	2019年11月30日	2020年11月30日
売上高	359百万円	332百万円	252百万円	317百万円	351百万円
従業員数	17人	20人	17人	17人	17人
本社事務所床面積	142.4㎡	142.4㎡	142.4㎡	142.4㎡	142.4㎡
沼津営業所床面積	-	-	20.4㎡	20.4㎡	20.4㎡
倉庫床面積	283.8㎡	283.8㎡	283.8㎡	283.8㎡	283.8㎡
資材置場面積	702.69㎡	702.69㎡	702.69㎡	702.69㎡	702.69㎡

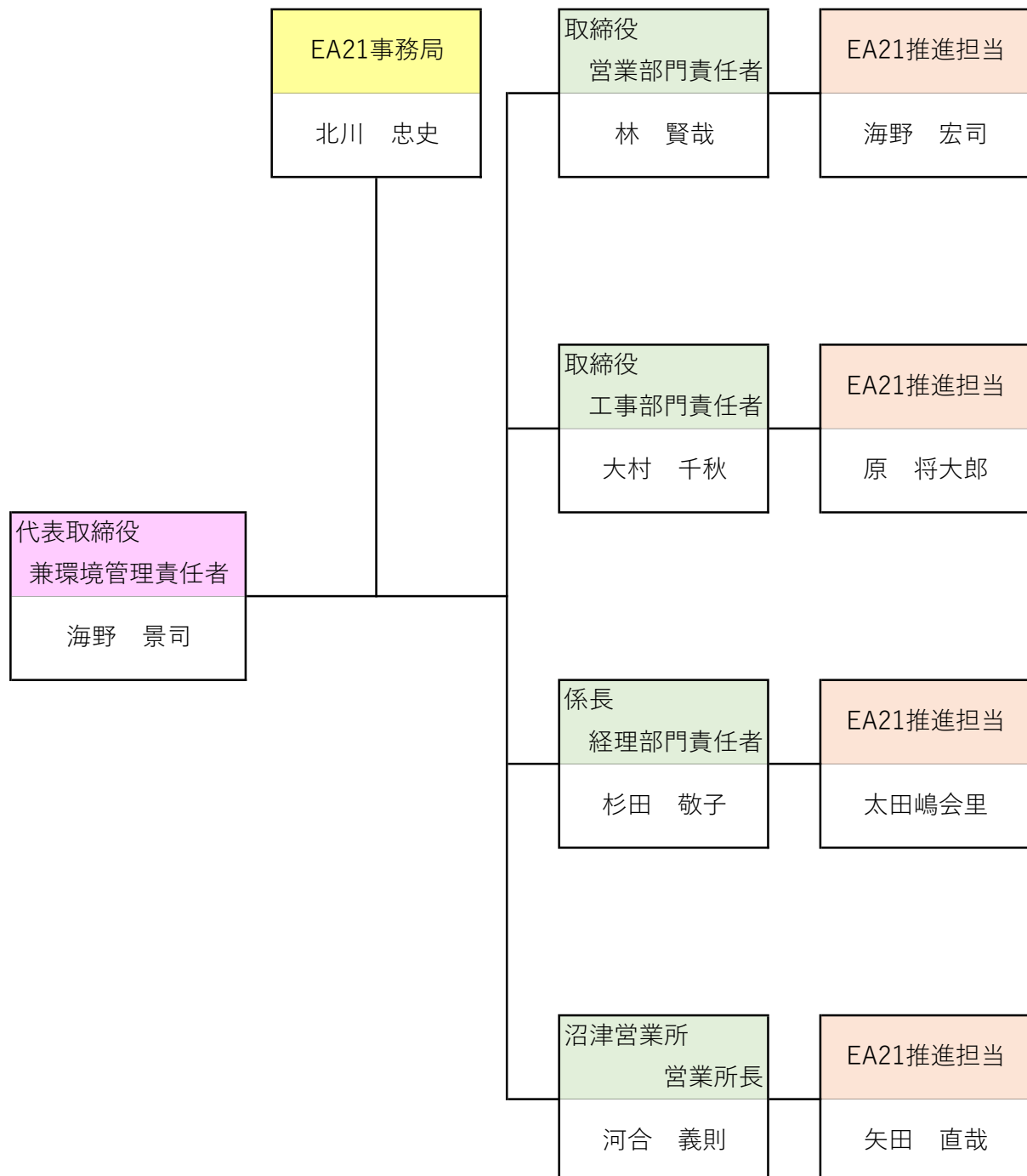
□取組の対象組織・活動

対象組織：全組織（本社、沼津営業所）を対象

対象活動：全活動を対象

2-1. 実施体制（組織図）

作成者：北川 忠史
〈2020年11月現在〉



2-2. 実施体制（役割・責任・権限）

<代表取締役兼環境管理責任者>

- 1.環境経営に関する総括責任
- 2.運営体制の構築
- 3.経営における課題とチャンスの明確化
- 4.環境経営方針を定め社会への誓約並びに全従業員への周知
- 5.環境経営目標及び環境経営計画の承認
- 6.エコアクション21を運用し維持するための経営資源を用意
- 7.全体の評価と見直し指示
- 8.環境経営レポートの承認

<EA21事務局>

- 1.環境経営方針に基づき環境経営目標の作成
- 2.各部門責任者から提出された環境経営計画の取り纏め
- 3.実績の集計並びに計画の予実管理
- 4.環境経営レポートの作成
- 5.エコアクション21に関連する文書・記録の管理
- 6.環境への負荷の自己チェックの実施

<部門責任者>

- 1.環境経営目標に則った環境経営計画の策定
- 2.部門社員への環境教育の実施
- 3.EA21事務局に、部門に関連する取組結果の報告

<営業部門推進担当者>

- 1.化石燃料（ガソリン）の削減
- 2.環境に配慮した施工計画の提案

<工事部門推進担当者>

- 1.化石燃料（軽油、液化石油ガス）の削減
- 2.化学物質使用量の抑制及び適正管理
- 3.周辺環境に配慮した施工
- 4.産業廃棄物の適正分別と廃棄量削減
- 5.地域ボランティアへの積極参加

<経理部門推進担当者及び沼津営業所推進担当者>

- 1.購入電力の削減
- 2.灯油使用量の削減
- 3.水使用の削減
- 4.一般廃棄物の適正分別と廃棄量削減

3. 環境経営方針

環境理念

中部ロードテック株式会社は、交通安全施設の設計施工を通し安心安全な社会創りに寄与するための事業者として、環境経営の継続的改善を進めることで、持続可能で豊かな社会実現の一翼を担い、安全で安心な社会の構築に貢献し続けます。

環境保全への行動指針

当社は環境理念に基づき、以下の行動指針を定め継続的な環境経営を展開します。

1. 地球環境保護のため創意工夫等により、省エネルギー・リサイクル・分別収集再資源化活動・節水を推進し、主に燃料の節約・使用電力の節約により二酸化炭素排出削減に努める。
2. 環境関連法規を遵守する。
3. 全社員に対して環境経営方針を掲示等により周知させ、環境教育を行い、会社のみならず、家庭においても実施するよう啓蒙活動を行い環境保全の重要性意識を高める。
4. 環境活動レポートをHP等にて社外に公開し社会とのコミュニケーションを図る。
5. 建設現場で使用する重機は周辺への環境に配慮されたものを使用する。
6. 化学物質の適正な管理を徹底する。
7. 環境に配慮した施工技術の提案、並びに環境にやさしい商品の販売を推進する。
8. 地域の環境保全への取組みに積極的に参加し、企業の社会的責任を果たす。
9. 環境マネジメントシステムを構築し、環境汚染の防止及び環境保全活動の継続的改善・向上を図る。
10. 全ての役職員がSDGs（持続可能な開発目標）の理解に努め、継続的にSDGsが掲げる目標実現に向け活動する。

制定	2007年9月1日
改定	2012年12月1日
改定	2018年12月1日
改定	2020年5月22日
改定	2020年8月1日

中部ロードテック株式会社
代表取締役 海野 景司

4. 環境経営目標

【環境経営目標項目】

作成日 2019年12月1日

項目	実績		目標			
	2015年度		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	(基準年度)		(増減率)	(増減率)	(増減率)	(増減率)
二酸化炭素排出量	128,397	kg-CO2	124,545 (-3.0%)	123,261 (-4.0%)	121,977 (-5.0%)	120,693 (-6.0%)
購入電力	14,338	kwh	13,908 (-3.0%)	13,764 (-4.0%)	13,621 (-5.0%)	13,478 (-6.0%)
ガソリン使用量	14,874	ℓ	14,205 (-4.5%)	13,982 (-6.0%)	13,759 (-7.5%)	13,535 (-9.0%)
軽油使用量	23,734	ℓ	23,022 (-3.0%)	22,785 (-4.0%)	22,547 (-5.0%)	22,310 (-6.0%)
一般廃棄物排出量	1.64	t	1.39 (-15.0%)	1.34 (-20.0%)	1.23 (-25.0%)	1.15 (-30.0%)
産業廃棄物排出量	89.39	t	88.05 (-1.5%)	87.60 (-2.0%)	87.16 (-2.5%)	86.71 (-3.0%)
水使用量	144.93	m ³	142.76 (-1.5%)	142.03 (-2.0%)	141.31 (-2.5%)	140.58 (-3.0%)

※購入電力二酸化炭素排出係数は、本社使用電力は2017年度中部電力株式会社で0.472kg-CO2/kwh。

また、沼津営業所は2016年度東京電力エナジーカンパニーで0.474kg-CO2/kwh。

項目	実績		目標			
	2015年度		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	(基準年度)		(増減件数)	(増減件数)	(増減件数)	(増減件数)
環境に配慮した施工(計画)	38	件	44件 (+6件)	46件 (+8件)	48件 (+10件)	50件 (+12件)
環境ボランティア活動の実績	5	件	6件 (+1件)	6件 (+1件)	6件 (+1件)	6件 (+1件)

【適切な維持・管理を行うことを目標とする項目（実績値は把握する）】

項目	実績		目標			
	2015年度		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	(基準年度)					
灯油使用量	616	ℓ	適切な維持・管理を行う 実績値は把握する			
LPガス使用量	7,634	kg	適切な維持・管理を行う 実績値は把握する			
化学物質使用量 (トルエン)	579.84	kg	適切な維持・管理を行う 実績値は把握する			

※灯油使用量は少量で、主に事務所の暖房ストーブ用に使用している。使用量は冬期の気候により大きく変動するため、目標値は設定せず、適切な保管・管理を行うことを目標とする。（但し、実績値は把握する）

※LPガス使用量及び化学物質（トルエン）使用量は、受注する区画線工事量により変動し、当社主力工事の受注量に比例し、この使用量をコントロールし削減目標を設定することは、企業の存続意義の面からも困難であり、目標値は設定せず、適切な保管・管理を行うことを目標とする。（但し、実績値は把握する）

【SDGs活動の推進】

項目	実績		目標			
	2015年度		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
	(基準年度)					
SDGs活動の推進	—		エコアクション21をベースにしてCO2排出量の削減に取り組む。 活動計画の作成と実績の把握			

5. 環境経営計画と評価

No	取組内容	担当	2019年度												担当評価	責任者評価
			12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月		
1	二酸化炭素排出量の削減															
	□購入電力の削減	太田嶋、矢田														
	クールビズ・ウォームビズの推進による冷暖房使用の抑制	経理部門													○	○
	事務所内空調の適温化（冷房28℃程度、暖房20℃程度）の徹底														○	○
	事務所・倉庫・トイレ等の照明は不要時の消灯の徹底														○	○
	エアコン簡易点検とフィルターの定期掃除実施		→			→			→			→			○	○
	蛍光灯の定期清掃実施			→		→			→			→			○	○
	□化石燃料（ガソリン・軽油、液化石油ガス）の削減	海野（宏）														
	エコ運転の推奨	営業部門・ 工事部門													○	○
	車両別の燃費管理の推進														○	○
	アイドリングストップの推奨														○	○
	休憩時間は社用車のエアコンの使用を控える														○	○
	車両担当者による定期点検（毎月）の実施と点検結果の報告														○	○
	運転日報（走行距離、給油量）の提出と車両別燃費結果のデータ化														○	○
	車両の入替にあっては低燃費車を優先する														○	○
	ディーゼル車の定期的なDPD手動再生操作の実施														○	○
	対象工事に見合う区画線材料の溶融により液化石油ガスの使用量抑制														○	○
	□灯油使用量の削減	太田嶋、矢田														
	冷え込みが厳しい状況を除き電気暖房器具での空調を優先する	経理部門				→								→	○	○
	状況に応じ大小のストーブを使い分ける					→								→	○	○
	ストーブ使用時はストーブの上に水の入ったやかんを置き加湿する					→								→	○	○
	加湿器使用により暖房効果（体感温度上昇）を高める					→								→	○	○
	扇風機等により事務所内の空気の攪拌を行う					→								→	○	○

- 【評価基準】
- ・・・取り組みは徹底されている
 - △・・・取り組みはされているが更なる取り組み強化が求められる
 - ×・・・十分な取り組みはされていない

5. 環境経営計画と評価

No	取組内容	担当	2019年度												担当評価	責任者評価
			12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月		
2	廃棄物排出量の削減															
	□一般廃棄物の適正分別と廃棄量削減	太田嶋、矢田														
	段ボール、雑誌、雑紙を分別リサイクル	経理簿門													○	○
	ペットボトル、瓶、缶等を分別リサイクル														○	○
	印刷は両面印刷を基本とする														○	○
	不要となった使用済コピー用紙の裏面使用の徹底														○	○
	□産業廃棄物の適正分別と廃棄量削減	原														
	区画線材料の袋は、溶融式を使用し残材を出さない	工事部門													○	○
	再生資源利用計画書に沿った管理を行う														○	○
	施工・作業方法を見直し、廃棄物発生量の抑制を図る														○	○
	施工・作業時における資材ロスの低減を実施														○	○
	コンテナボックスの交換状況表を作成し削減の意識付けを図る														○	○
	建設現場で発生する廃棄物を適正に分別し混合廃棄物としない														○	○
3	□水使用量の削減	太田嶋、矢田														
	節水の呼び掛けを行うと共に日常的に節水を励行	経理部門													○	○
	洗濯機の適度な使用														○	○
4	□化学物質使用量の抑制及び適正管理	原														
	化学物質の購入は必要最小限とし、原則保管はしない	工事部門													○	○
	保管にあたっては揮発防止及び流出防止策を講じ厳密に行う														○	○
5	□周辺環境へ配慮した施工	原														
	低騒音・低振動の重機使用により周辺に配慮	工事部門													○	○
	□環境に配慮した施工計画の提案	海野（宏）														
	再生資源の積極利用	営業部門													○	○
	環境負荷の少ない建築材の使用提案														○	○
	環境負荷の少ない施工のための設計・計画の策定														○	○
6	□地域ボランティアへの積極参加	原														
	環境美化ボランティア（河川環境アドプトプログラム）への参加	工事部門													○	○
	道路清掃活動（「静岡市道路サポーター制度」）への計画的参加														○	○

5. 環境経営計画と評価

No	取組内容	担当	2019年度												担当評価	責任者評価
			12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月		
7	□業務の効率化推進	大村・林														
	全ての業務の抽出（洗い出し）	工事部門										→			○	○
	無駄な業務、重複する業務の選別	営業部門											→		○	○
	優先順位づけ	経理部門											→		○	○
	必要に応じ、自動化・マニュアル化・業務フローチャート等の作成												→		○	○
8	□人材確保、育成	代表取締役														
	新規採用の実施	経営層												→	○	○
	知識習得の為の勉強会開催									→		→		→	○	○
	OJT教育												→		○	○

6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

□社用車の燃費向上活動

工事部門及び営業部門のエコアクション推進担当のリーダーシップの下、次に掲げる4項目を燃費向上の為の取組み内容とした。

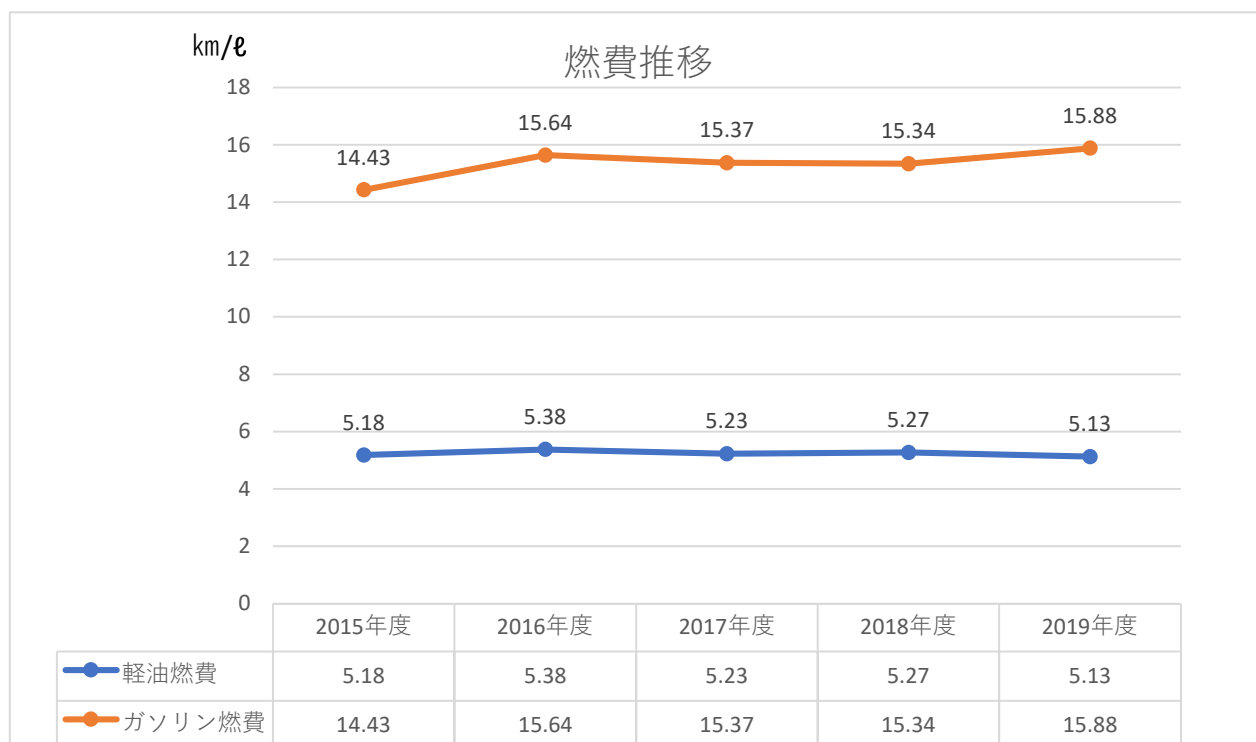
- 1.エコ運転の推奨
- 2.アイドリングストップの推奨
- 3.休憩時間は社用車のエアコンの使用を控える
- 4.車両担当者による定期点検（毎月）の実施と点検結果の報告

また、1週間毎に走行距離と給油量を運転日報として報告させ、車両別燃費結果をデータ化して、それを全体会議でフィードバックし、社員一人一人が主体的且つ積極的に燃費向上に取り組める組織風土醸成を組織の課題とした。

<社用車燃費の推移>

		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
工事車両	走行距離	113,701	117,085	93,827	83,546	104,450
	給油量	21,969	21,743	17,944	15,849	20,361
	軽油燃費	5.18	5.38	5.23	5.27	5.13
営業車両	走行距離	128,999	139,825	176,269	198,092	182,529
	給油量	8,939	8,940	11,467	12,929	11,492
	ガソリン燃費	14.43	15.64	15.37	15.34	15.88

※レンタカーの実績を含まず。



6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

□清掃業者によるエアコンクリーニングの実施



＜実施日：2020年7月1日（水）＞

前回実施から約2年が経過し、社員実施のフィルター定期清掃では落せなかった汚れも落とすことができ、エアコンの運転効率の改善が期待される。

□小型塗料溶融釜（NSU-200L）の導入



＜導入日：2020年6月18日（木）＞

〈商品の特徴〉

路材200kgを加熱し攪拌できる溶融釜で、自動温度調整機能付で効率的で環境にやさしい。

一般的な固定式の連槽釜と比べて小型・軽量のため、必要なときにのみトラックに据付け使用するという運用方法が可能です。

ガソリンエンジンと比べ、排気ガスがクリーンで、また火災に対する安全性も高いプロパンガスエンジンを採用。

□ハイブリッド商用バン「トヨタ・サクシード」の導入



これまでの営業車両である「トヨタ・カローラフィールダー」が導入から5年を経過することになり、車両重量で20kg軽量の「トヨタ・サクシード」に入れ替えする。軽量化と新ハイブリットシステムにより、燃費改善が期待できる。

6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

□節水を呼び掛ける表示物



<表示箇所>

- ・屋内給湯室
- ・屋外手洗い所
- ・室内トイレ手洗場
- ・男子トイレ手動水洗ボタン付近
- ・様式トイレのトイレトーパーカバー上部

□空調の適温化（冷房28℃程度、暖房20℃程度）

〈クールビズ対応で28℃でも快適に!!〉



〈ウォームビズ対応で20℃でも暖かく!!〉



□状況に応じ大小のストーブ使い分け

<大ストーブ>

冷え込みが強く、事務所全体を暖める場合に使用する。



<小ストーブ>

冷え込みが強く、事務担当者のみ事務所に在籍の場合に使用する。



□産業廃棄物の適正分別

「ガラス屑、コンクリート屑及び陶磁器屑」「コンクリート塊」「As・Co塊」及びその他梱包資材や発泡スチロール等の廃棄物に分類。



6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

□エアコン簡易点検とフィルターの定期掃除実施

<室内機の点検と掃除>

実施日：2019年12月27日（金）

実施日：2020年3月23日（月）

実施日：2020年6月5日（金）

実施日：2020年9月18日（金）



<室外機の点検と掃除>

実施日：2019年12月27日（金）

実施日：2020年3月23日（月）

実施日：2020年6月5日（金）

実施日：2020年9月18日（金）



□蛍光灯の定期清掃実施

実施日：2019年12月27日（金）

実施日：2020年3月23日（月）

実施日：2020年6月5日（金）

実施日：2020年9月18日（金）



6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

□社会貢献への参加（アダプトプログラム）

静岡市河川環境アダプトプログラム事業に参加しており、市内を流れる安倍川・藁科川における河川敷等のゴミを取り除く環境美化ボランティアを行い、美しい川創りに協力しています。本年度も3回実施しました。

活動区域：安倍川左岸市立田町小学校付近から静岡河川事務所付近

《第1回目》

2020年4月13日（月）

参加人数6人



《第2回目》

2020年6月10日（水）

参加人数5人



《第3回目》

2020年11月20日（金）

参加人数8人



□社会貢献への参加（道路サポーター）

2006年9月に創設された『静岡市道路サポーター制度』に登録し、道路の草刈りやゴミ拾い等、道路清掃活動に参加しています。本年度も3回実施しました。

活動区域：静岡市駿河区中島

路線名：市道中島土地区画9号線（起点～終点）
市道中島中野新田2号線（区間約60m）

《第1回目》

2020年4月13日（月）

参加人数6人



《第2回目》

2020年6月10日（水）

参加人数8人



《第3回目》

2020年11月20日（金）

参加人数8人



7-1. 環境経営目標の実績

【環境経営目標項目】

項 目	2015年度		2019年度					
			目標		実績		増減率 乖離幅	評価
	基準年度実績値		目標値	増減率	実績値	増減率		
二酸化炭素排出量	128,397	kg-CO2	123,261	-4.0%	111,692	-13.0%	-9.0%	○
購入電力	14,338	kwh	13,764	-4.0%	12,542	-12.5%	-8.5%	○
ガソリン使用量	14,874	ℓ	13,982	-6.0%	11,335	-23.8%	-17.8%	◎
軽油使用量	23,734	ℓ	22,785	-4.0%	24,650	3.9%	7.9%	△
一般廃棄物排出量	1.64	t	1.34	-20.0%	0.69	-57.9%	-37.9%	◎
産業廃棄物排出量	89.39	t	87.60	-2.0%	57.31	-35.9%	-33.9%	◎
水使用量	145.00	m³	142.03	-2.0%	171.69	18.4%	20.4%	×

【評価基準】 ※増減率乖離幅とは、実績増減率から目標増減率を差し引いた数値。

- ◎ 目標増減率を達成し増減率乖離幅が10%以上。
- 目標増減を達成し増減率乖離幅が10%未満。
- △ 目標増減率が未達成で増減率乖離率が10%未満。
- × 目標増減率が未達成で増減率乖離率が10%以上。

項 目	2015年度	2019年度				
		目 標		実 績		評 価
	基準年度実績値	目 標 値	増 加 件 数	実 績 値	増 加 件 数	
環 境 に 配 慮 し た 施 工 （ 計 画 ）	38件	46件	8件	51件	13件	○
環 境 ホ ー ラ ン テ ィ ア 活 動 の 実 施	5件	6件	1件	6件	1件	○

【評価基準】 ○ 目標達成 × 目標未達成

【適切な保管・管理を行うことを目標とする項目（実績値は把握する）】

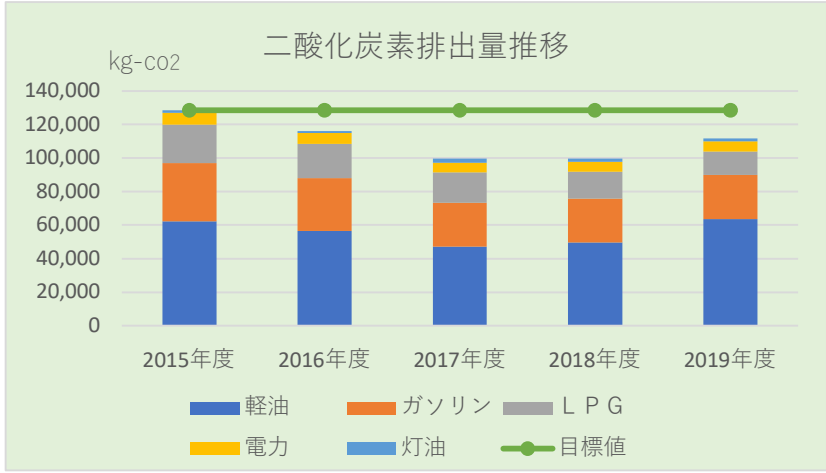
項 目	2015年度		2019年度		
			目標	評価	実績値把握
	基準年度実績値				
灯 油 使 用 量	616	kg	適切な保管・管理を行う	○	740
LP ガ ス 使 用 量	7,634	kg	適切な保管・管理を行う	○	4,676
化学物質使用量 （ ト ル エ ン ）	580	kg	適切な保管・管理を行う	○	2,337

【評価基準】 ○ 適切な保管・管理が行えた。 × 適切な保管・管理が行えなかった。

【SDGs活動の推進】

項目	2019年度		評価
SDGs活動の推進	目標	エコアクション21をベースにしてCO2排出量の削減に取り組む。	◎
	実績	8項目の指標に関する活動を実施した。	

7-2. 環境経営計画の取組結果とその評価

項 目	評 価	評価
二酸化炭素排出量の削減	□4.0%の削減目標に対して実績は13%削減であった。遠方工事件数が増加したことにより、工事車両が使用する軽油使用量は目標未達であったものの、二酸化炭素排出量の24%を占めるガソリン使用量が営業車両のエコドライブ意識の向上を始めとする各取組みが奏功し削減でき、またLPG使用量が38.8%減少したことも寄与している。  二酸化炭素排出量推移 kg-CO₂ 140,000 120,000 100,000 80,000 60,000 40,000 20,000 0 2015年度 2016年度 2017年度 2018年度 2019年度 ■ 軽油 ■ ガソリン ■ L P G ■ 電力 ■ 灯油 ● 目標値	○
購入電力使用量の削減	□4.0%の削減目標に対して実績は12.5%で目標を達成した。 □昼食時における事務エリアの消灯等、社員個々のエコアクションを意識した行動が目標達成に繋がったと思慮する。	○
ガソリン使用量の削減	□ガソリン使用量は基準年度に対して23.8%の削減となった。営業担当者一人一人にエコドライブ意識が根付いたこと、また期中に営業車1台を新ハイブリッドシステム車に入れ替えたことが寄与した。	◎
軽油使用量の削減	□2018年度317件であった工事件数が、2019年度は576件へと大幅な増加に伴い作業車両の稼働時間も増加したことが目標を達成できなかった主要因である。 □2019年度は工事車両の新車入替も無く、経年劣化による燃費悪化も目標達成できなかった要因としてあげられる。	△
一般廃棄物排出量の削減	□排出量の大半は必要のなくなったコピー用紙であるが、裏面印刷の徹底や両面印刷の推奨等の効果もあり、基準年度比で57.9%の削減となった。	◎
産業廃棄物排出量の削減	□産業廃棄物排出量は、「As・Co塊」と「金属くず」の排出量を如何に抑制するかが削減の鍵であるが、それ等を排出する工事が基準年度比で増加したが目標を大幅に達成できた。	◎
水使用量の削減	□節水を呼び掛ける表示物を水を使用する水場等に掲示したり、様々な場面で節水意識が高まる様に注意喚起しているが、削減目標をクリアすることはできなかった。引き続き、「水」も限りある資源であることを全社員が再認識し小さな努力を積み重ねることとする。	×

【評価基準】 ※増減率乖離幅とは、実績削減率から目標増減率を差し引いた数値。

- ◎ 目標増減率を達成し増減率乖離幅が10%以上。 ○ 目標増減率を達成し増減率乖離幅が10%未満。
△ 目標増減率は未達成で増減率乖離幅が10%未満。 × 目標増減率は未達成で増減率乖離幅が10%以上。

7-2. 環境経営計画の取組結果とその評価

項 目	評 価	評価
環 境 に 配 慮 し た 施 工 (計 画)	□環境に配慮した施工計画は目標件数46件に対して、実績は51件で目標達成した。引き続き環境に配慮した塗料材の使用や、排出ガス対策型の重機使用等々、営業部門及び工事部門全体で環境にやさしい施工（計画）に取り組む。	○
社 会 貢 献 へ の 参 加	□静岡市河川環境アダプトプログラム事業に参加して、安倍川の清掃を3回実施した。 □静岡市の道路サポーター制度に登録して、道路清掃活動を3回実施した。	○

【評価基準】 ○ 目標達成 × 目標未達成

灯 油 使 用 量	□灯油使用量については目標値は設定せず、適切な保管・管理を行うことを目標とし取組んだ。保管場所は、紫外線による灯油の劣化を避けるため直射日光が当たらず、また雨水等の不純物が入る恐れのない適切な場所で保管が徹底された。また、ワンシーズンで使い切ることをルールとして、シーズン終盤では注文数をコントロールし暖房方法をエアコンに切り替える等の施策も実施した。	○
L P ガ ス 使 用 量	□L P ガス使用量については、自社主力業務である区画線工事を始めとした塗装工事には必要不可欠な資源であり、画期的な技術革新でもない限り、事業規模縮小以外に削減の余地はないため、目標値は設定せず、適正な保管・管理を行うことを目標とし取組んだ。受注工事毎に必要な量を算出し注文を行うことで、在庫管理も煩雑にならず、適切な保管・管理は実現された。	○
化 学 物 質 使 用 量 (ト ル エ ン)	□当社の使用する化学物質は、区画線工事を始めとした塗装工事に使用するプライマーに含まれるトルエンであるが、プライマー等化学物質を使用せず塗装品質を保てる方法が現状では見いだせないため目標値は設定せず、適正な保管・管理を行うことを目標とし取組んだ。受注工事毎に必要な量を算出し注文を行うことで、在庫管理も煩雑にならず、適切な保管・管理は実現された。	○

【評価基準】 ○ 適切な保管・管理が行えた × 適切な保管・管理が行えなかった

7-3. 次年度環境経営計画

No	取組内容	担当	2020年度											
			12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
1	二酸化炭素排出量の削減													
	□購入電力の削減	太田嶋、矢田												
	クールビズ・ウォームビズの推進による冷暖房使用の抑制	経理部門												
	事務所内空調の適温化（冷房28℃程度、暖房20℃程度）の徹底													
	事務所・倉庫・トイレ等の照明は不要時の消灯の徹底													
	エアコン簡易点検とフィルターの定期掃除実施		→			→			→			→		
	蛍光灯の定期清掃実施			→			→			→			→	
	□化石燃料（ガソリン、軽油、液化石油ガス）の削減	海野（宏）												
	エコ運転の推奨	営業部門・ 工事部門												
	アイドリングストップの推奨													
	エンジンの始動は出発準備ができシートベルト着用後とする													
	目的地に到着したら速やかにエンジンを止める													
	休憩時間は社用車のエアコンの使用を控える													
	車両担当者による定期点検（毎月）の実施と点検結果の報告													
	運転日報（走行距離、給油量）の提出と車両別燃費結果のデータ化													
	車両の入替にあっては低燃費車を優先する													
	ディーゼル車の定期的なD P D手動再生操作の実施													
	対象工事に見合う区画線材料の溶融により液化石油ガスの使用量抑制													
	□灯油使用量の削減	太田嶋、矢田												
	冷え込みが厳しい状況を除き電気暖房器具での空調を優先する	経理部門				→								→
	状況に応じ大小のストーブを使い分ける					→								→
	ストーブ使用時はストーブの上に水の入ったやかんを置き加湿する					→								→
	加湿器使用により暖房効果（体感温度上昇）を高める					→								→
	扇風機等により事務所内の空気の攪拌を行う					→								→

…………… 新たな取組み

7-3. 次年度環境経営計画

No	取組内容	担当	2020年度											
			12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
2	廃棄物排出量の削減													
	□一般廃棄物の適正分別と廃棄量削減	太田嶋、矢田												
	段ボール、雑誌、雑紙を分別リサイクル	経理部門												▶
	ペットボトル、瓶、缶等を分別リサイクル													▶
	印刷は両面印刷を基本とする													▶
	不要となった使用済コピー用紙の裏面使用の徹底													▶
	□産業廃棄物の適正分別と廃棄量削減	原												
	区画線材料の袋は、熔融式を使用し残材を出さない	工事部門												▶
	再生資源利用計画書に沿った管理を行う													▶
	施工・作業方法を見直し、廃棄物発生量の抑制を図る													▶
	施工・作業時における資材ロスの低減を実施													▶
	コンテナボックスの交換状況表を作成し削減の意識付けを図る													▶
	建設現場で発生する廃棄物を適正に分別し混合廃棄物としない													▶
3	□水使用量の削減	太田嶋、矢田												
	節水の呼び掛けを行うと共に日常的に節水を励行	経理部門												▶
	洗濯機の適度な使用													▶
4	□化学物質使用量の抑制及び適正管理	原												
	化学物質の購入は必要最小限とし、原則保管はしない	工事部門												▶
	保管にあたっては揮発防止及び流出防止策を講じ厳密に行う													▶
5	□周辺環境へ配慮した施工	原												
	低騒音・低振動の重機使用により周辺に配慮	工事部門												▶
	□環境に配慮した施工計画の提案	海野（宏）												▶
	再生資源の積極利用	営業部門												▶
	環境負荷の少ない建築材の使用提案													▶
	環境負荷の少ない施工のための設計・計画の策定													▶

7-3. 次年度環境経営計画

No	取組内容	担当	2020年度											
			12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
6	□地域ボランティアへの積極参加	原												
	環境美化ボランティア（河川環境アドプトプログラム）への参加	工事部門												▶
	道路清掃活動（「静岡県道路サポーター制度」）への計画的参加													▶
7	□人材確保、育成	代表取締役												
	新規採用の実施	経営層												▶
	知識習得の為の勉強会開催													▶
	O J T 教育													▶

8. S D G s

2020年2月13日持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを静岡市に宣言!!

〈事業所・団体としての2030年の（または中長期的な）あるべき姿〉

交通安全施設の設計施工を通し安心安全な社会創りに寄与し、持続可能な社会の実現に向け、その一翼を担える企業であり続ける。

〈事業所・団体としてのねらい、特徴的な活動〉

エコアクション21をベースに企業全体としてCO2排出量の削減に取り組む。

各目標に関連する取組内容		
ゴール	これまでの取組	来年度の取組内容
	全ての従業員を対象とした会社負担によるインフルエンザ予防接種の実施。	全従業員に対し全額会社負担によるインフルエンザ予防接種を年1回実施。
	運転の無事故無違反者表彰実施。今年度は15名中11名を表彰。	無事故無違反者の表彰を継続実施。社員の9割に当たる13名が無事故無違反となるよう継続的に注意喚起を行う。
	従業員の病気補償として全額会社負担による疾病入院保険への加入。	会社負担による従業員の疾病入院医療保険加入を継続する。
	資格取得支援制度。	国家資格・運転技能資格・特別教育等の資格取得6名活用。
	資格手当の支給。	国家資格取得者に対する手当支給7名。
	建設業労働災害防止協会への加入。	継続加入。
	社内蛍光灯のLED化。	実施済。
	ハイブリッド車及びアイドリングストップ機能付車の導入。	継続実施。来年度は普通車の入れ替え予定が1台（HV車）。
	社用車の燃費管理。	月1回の安全会議にて啓蒙やディーゼル車の定期的DPD実施。
	充電式工具の導入。	工具購入時は充電式工具の積極的な購入。
	働き方改革の一環として、月3回のノー残業デーの導入。	継続実施。
	環境に配慮した使用材料や施工方法の提案。	溶袋式の使用材料、水性塗料の使用。
	障害者雇用と障害者が安心して働ける職場環境整備。	障害者雇用の継続実施。
	静岡市道路サポーター、河川環境アドプトプログラムへの参加。	道路サポーター年3回の実施、アドプトプログラム年3回の実施。
	静岡県および静岡市との災害協定締結。	協定に基づいた有事の際の活動内容を社内で共有。
	防災ソーラー照明購入・販売促進。	継続実施。
	エコアクション21認証取得。	エコアクション21の継続と更新。
	静岡市CSRパートナー企業。	静岡市CSRパートナー企業の継続と更新。

8. S D G s

2020年コロナウイルスの脅威に対して企業としての取組みを新たに実施。

ゴール	新たな取組み
3 すべての人、健康と安全を	□新型コロナウイルス対策（アルコール消毒の徹底） 社員通用口及び来客入口にアルコール消毒液ポンプを設置。社員は出社時は勿論、外出先から帰社した際にも必ずアルコール消毒液で手洗いを実施。弊社に用事があって来客頂いたお客様にも、例外なくアルコール消毒液による手洗いを御願いしています。 また、お手洗い使用後及び食事前は室内にいてもアルコール消毒を実施しています。 〈社員通用口のアルコール消毒液設置状況〉  〈来客入口のアルコール消毒液設置状況〉  〈お手洗い入口のアルコール消毒液設置状況〉  □新型コロナウイルス対策（その他） 季節を問わず新型コロナウイルス対策には、こまめな換気が重要であり2時間おきに事務所の窓を開け換気を行っています。亜塩素酸ナトリウム配合の“首にかけるだけの除菌ブロッカー”を毎月会社から各社員に提供しています。 尚、事務所内では社員はマスクの着用を義務化し、万一コロナ感染が発生した場合でも濃厚接触者とならない為の防御と、感染拡大させぬ対策を講じています。

9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

□当社の事業活動で法的義務を受ける主な環境関連法規の遵守状況

法規・条例・規制	適用内容	遵守状況
廃棄物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）	☐ 一般廃棄物の収集運搬業者への委託処理 ☐ 産業廃棄物の適正保管 ☐ 産業廃棄物の委託処理 ☐ 運搬又は処分を委託する場合の処理基準の遵守 ☐ 産業廃棄物の処理の状況に関する現地確認 ☐ マニフェストの交付及び保管（A及びB2・D・E票の5年間保管） ☐ 管理票写しの送付がない時の適切な措置（D・E票の期限内返却） ☐ 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出 ☐ 虚偽の管理表の交付等の禁止 ☐ 不法投棄の禁止	遵守
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	☐ 産業廃棄物管理責任者の設置 ☐ 産業廃棄物処理の委託先の実施確認とその記録の保存	遵守
建設リサイクル法（建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律）	☐ 建設業を営む者の責務 ☐ 分別解体等実施義務 ☐ 対象建設工事の届出等 ☐ 対象建設工事の届出に係る事項の説明等 ☐ 再資源化等実施義務 ☐ 発注者への報告等 ☐ 技術管理者の設置	遵守
騒音規制法	☐ 特定建設作業の実施の届出	遵守
振動規制法	☐ 特定建設作業の実施の届出	遵守
下水道法	☐ 排水設備の設置等	遵守
フロン排出抑制法（フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律）	☐ 第一種特定製品（業務用冷凍空調機器）の、3カ月に1回以上の簡易点検義務 ☐ 簡易点検記録の作成 ☐ 対象機器毎に定められた定期点検の実施及びその内容 ☐ 第一種特定製品廃棄等実施者の引渡義務	遵守
消防法	☐ 消防法上で定められた危険物の保管方法及び運送方法の遵守	該当なし
家電リサイクル法（特定家庭用機器再商品化法）	☐ 特定家庭用機器廃棄物の収集・運搬をする者等への適切な引き渡し ☐ 指定家電（テレビ・冷蔵庫・ホームエアコン他）廃棄時のサイクル料金の支払	該当なし
自動車リサイクル法（使用済自動車の再資源化等に関する法律）	☐ 自動車の所有者の責務 ☐ 使用済自動車の引渡義務 ☐ リサイクル料金の支払（廃車時）	遵守
資源の有効な利用の促進に関する法律	☐ 消費者の責務 ☐ 指定再資源化製品のリサイクルへの協力（適正廃棄）	遵守

遵守確認日：2021年11月30日

遵守確認者：海野 景司

コメント：環境関連法規等の遵守状況を確認しましたが違反はありませんでした。

□違反・訴訟の有無

1.関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟は3年間ありませんでした。

10.代表者による全体の評価と見直し・指示

1・見直し 関連情報	項 目		確認 : (必要に応じて評価・コメント記載)	
	1	エコアクション21文書	☒	建設業者向け2017年度版対応
	2	環境目標及び目標達成状況	☒	二酸化炭素排出量は、工事件数の大幅増加に伴い、工事車両が使用する軽油使用量が目標達成できなかったものの、ガソリン使用量及びLPG使用量・購入電力の削減が寄与し全体としては削減目標を達成できた。
	3	環境活動計画及び取り組み実施状況	☒	各項目共に計画通りに取り組みできた。
	4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	☒	該当する法律、規則は遵守した。
	5	外部コミュニケーション・対応記録	☒	外部からの苦情等は無し。
	6	問題点の是正・予防措置の実施状況	☒	水使用量は一昨年度に引き続き目標遵守できなかった。節水については適宜注意喚起されており、引き続き削減に向けた取組を強化したい。
	7	取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	☒	新型コロナウイルスの流行により、かつて経験したことのない環境下での経営に晒された。
	8	その他 ()	☒	特になし

2・代表者による 全体評価・見直し 指示	全体評価・コメント (環境経営システムの有効性、 環境への取組の適切性等)		全ての社員の二酸化炭素排出量削減に向けた行動が定着してきている。個々の取組の成果は些細なものかもしれないが、会社全体として継続して取組むことが重要でありシステムとして評価できる。 コロナ禍にあって先行きが不透明な状況であるが環境に配慮した施工管理に注力し、また業務の効率化及び省エネ活動の推進と併せ、社員個々がセルフエスティーム（自己肯定感）を持ち働ける組織風土醸成を目指す。	
	見直し項目		有・無	指示事項等・コメントなど記載
	1	環境経営方針	有 ☒ 無	
	2	環境目標・計画	有 ☒ 無	
	3	環境活動計画・取組項目	有 ☒ 無	
	4	環境に関する組織	有 ☒ 無	
	5	その他のシステム要素	有 ☒ 無	
	6	その他（外部への対応）	☒ 有・無	2020年2月13日持続可能なまちづくりに向けて静岡市にSDGsに取り組むことを宣言した。

2021年 2月 1日
中部ロードテック株式会社
代表取締役 海野 景司